

## グラフ分析

春闘、生活・労働実態調査」を行いました。組合員の年収平均は約5万7千円昨年よりも増額になりました。理由は、減車効果による日車營收が微増したものと思われます。

「平均年齢は」54.8歳、平均年齢がもっとも若いのは富山の50.13歳と高知の50.86歳で後は52歳台以上になっています。逆に平均年齢がもっとも高いのは岡山の66.8歳、続いて茨城の60.1歳です。20歳台は11%未満で、30歳台が6%、40歳台が18%、50歳台が40%、60歳台が35%となっています。

「平均勤続年数」は11.9年で、昨年より少し低くなっています。平均勤続年数が5年未満は佐賀タクの1件のみで4.8年。「平均勤続年数」が7年未満が山口の6.1年、福井の7.2年、長野の7.8年、石川の7.9年の4県となっています。「平均勤続年数」の最長は昨年と同じ青森の25.8年で、5.8年伸びています。

特措法の限界が明らかになり、タクシー事業法の成立がならず、組合員の失望・苛立ちを感じながらも一日も早いタクシー事業法の成立に向けて運動を前進させていかなければなりません。集計枚数は1765枚でした。

### Q 3. 一ヶ月間の生計費

「月間の平均生活費」は昨年が2000円下回った平均が約20万1600円でしたが、今回は更に8300円減った約19万3300円でした。20万円以上の地域は高知、群馬、山形、東京、大阪、富山、兵庫、長野、岡山、山口、千葉の11地域となっています。「平均生活費」は19万3347円です。

### Q 5.年間所得

「平均年収」は昨年より5万7000円程増え、300万円以上は東京、埼玉、愛知、富山の1都3県で、続いて伊豆箱根、兵庫、長崎県、長野、宮城と続いています。

200万円台（小豆色）が一番多く39%、100万円台（青色）21%、300万円台（ベージュ）21%と続きます。「平均年収」は平均約269万2300円でした。

### Q 6.世帯当たりの年間所得

「世帯当たりの年間所得」の平均で一番高いのは埼玉で505万2,000円で、その次に高知の502万8,600円で、500万円台は2県でした。「世帯当たりの年間所得」の平均は386万9,400円でした。昨年と比較すると、約13万5,000円増収となりました。300万未満（青）28%、300万円台（小豆色）26%、500万円台（みず色）11%となっています。

### Q 7.世帯当たりの家計の状況

「世帯の家計の状況」では「ゆとりがある」が昨年より2%増え7%。「収支がトントン」が昨年より3%増えて46%。逆に「貯金を取り崩している」世帯が昨年より3%減って36%になりました。わからない12%、その他が1%として重複回答があったため、このような集計結果となりましたが、ゆとりがあるのが全体で7%しかなくハイタク労働者の生活環境が非常に苦しいことには変わりはありません。

### Q 8.家計の貯蓄状況

「家計の貯蓄状況」については、「100万円以上の貯蓄がある」もしくは「100万円未満の貯蓄がある」と答えた世帯が56%で、昨年より21%増えています。貯蓄が無く借金があると答えて世帯は1%減って30%になっています。約3分の1に近い人が生活破綻ギリギリの生活に追いつめられていることも変わりありません。

### Q 9.この1年間で第1当事者としての交通事故を起こしたか

「第一当事者としての交通事故を起こさなかった組合員は1458名で全体の回答者の83%ですが、2回以上事故を起こした組合員が262名で14.8%、昨年対比で3%程減っています。

3回以上起こした組合員は8名で0.5%で4名減でした。

### Q 10.あなたの職場の定年は何歳ですか

「職場の定年は何歳」では55%が65歳定年になっています。続いて60歳以下が21%、63歳定年が9%、64歳が5%、62歳が3%、と続いています。未回答も多く4%ありました。

### Q 11.2013年度4月から定年65歳までにどうしたいですか。

「定年後はどうか」では「定年後も同じ職場で働く」が44%で一番多く、次が「まだ考えていない」が37%で二番目、三番目が「定年後年金だけで生活」が多く、全体の11%になっています。その他と未回答が4%弱ありました。

### Q 12.あなたにとって健康問題はどうか

「健康問題」では「元気そのもの」と答えたのが35%、「持病があるが薬服用乗務に支障ない」が28%、ついで「通院しているが乗務に支障ない」が18%で続いています。その他の回答者が5%、未回答が2%ありました。

### Q 13.どのような賃金体系を望むか

「賃金体系」は「固定給・一時金・退職金のある賃金体系」が全体の77%を占め「固定型賃金」を望んでいます。「完全歩合制」は8%で、ついで「どのような賃金体系でも良い」が5%、「わからない」が6%で続いています。